

第157回 日商簿記検定試験 2級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 仕訳問題

1. 売買目的有価証券の売却

期中に取得した売買目的の社債を売却する仕訳である。利息計算に注意する。

(1) 期中取得時

(借)	売買目的有価証券	980,000	(貸)	現					981,240
	(〃)	有価証券利息							1,240

※ 有価証券利息： $¥1,000,000 \times 0.73\% \times 62 \text{日} (4 \text{月} 1 \text{日} \sim 6 \text{月} 1 \text{日}) / 365 \text{日} = ¥1,240$

(2) 売却時

(借)	現	金	973,080	(貸)	売買目的有価証券				980,000
	(〃)	有価証券売却損	10,000	(〃)	有価証券利息				3,080

※ 有価証券利息： $¥1,000,000 \times 0.73\% \times 154 \text{日} (4 \text{月} 1 \text{日} \sim 9 \text{月} 1 \text{日}) / 365 \text{日} = ¥3,080$

2. 手形の更改

手形の更改に伴い支払った利息は、新たな手形に含める。そのため、仕訳は解答のようになる。このとき、同じ「支払手形」勘定でも、借方は古い手形を表しており、貸方は新たな手形を表しているため、違う意味を持つ。

3. 仕入割引

仕入割引は、掛仕入れにより発生した買掛金を、期日より早く掛代金の支払いを行うことで、支払免除があったときに発生する。

4. 固定資産の資本的支出・収益的支出

固定資産を修繕したうち、改良にかかった支出は資本的支出であり、建物勘定に振り替えられる。修繕にかかった支出は収益的支出であるため、修繕費勘定に振り替えられる。

(1) 建物： $¥1,500,000 \times 40\% = ¥600,000$

(2) 修繕費： $¥1,500,000 - ¥600,000 - ¥700,000$ (修繕引当金の取崩し) $= ¥200,000$

5. 税効果会計

その他有価証券の評価にかかる、税効果会計に関する問題である。取得時に比べ決算時の時価が、上がっているため、繰延税金負債が発生する。

(1) その他有価証券： $\{¥900 \text{ (決算時 1 株当たり時価)} - ¥800 \text{ (取得時 1 株当たり時価)}\} \times 10,000 \text{ 株} = ¥1,000,000$

(2) 繰延税金負債： $¥1,000,000 \times 30\% \text{ (法定実効税率)} = ¥300,000$

(3) その他有価証券評価差額金： $¥1,000,000 - ¥300,000 = ¥700,000$

第2問 リース会計

1. ファイナンス・リース取引

(1) 備品A

① 期中仕訳 (2018年9月30日)

(借) リース債務	660,000	(貸) 普通預金	720,000
(〃) 支払利息	60,000		
(借) 減価償却費	660,000	(貸) リース資産減価償却累計額	660,000

※ 普通預金(支払リース料) : $\yen 7,200,000$ (リース料総額) \div 5年(リース期間) \times 6か月/12か月 = $\yen 720,000$

※ 支払利息 : $\{ \yen 7,200,000$ (リース料総額) $- \yen 6,600,000$ (見積現金購入価額) $\} \div$ 5年(リース期間) \times 6か月/12か月 = $\yen 60,000$

※ 減価償却費 : $\yen 6,600,000$ (見積現金購入価額) \div 5年(耐用年数) \times 6か月/12か月 = $\yen 660,000$

② 期中仕訳 (2019年3月31日)

(借) リース債務	660,000	(貸) 普通預金	720,000
(〃) 支払利息	60,000		
(借) 減価償却費	660,000	(貸) リース資産減価償却累計額	660,000

(2) 備品B

① 期中仕訳 (2018年9月30日)

(借) リース債務	600,000	(貸) 普通預金	648,000
(〃) 支払利息	48,000		
(借) 減価償却費	600,000	(貸) リース資産減価償却累計額	600,000

※ 普通預金(支払リース料) : $\yen 6,480,000$ (リース料総額) \div 5年(リース期間) \times 6か月/12か月 = $\yen 648,000$

※ 支払利息 : $\{ \yen 6,480,000$ (リース料総額) $- \yen 6,000,000$ (見積現金購入価額) $\} \div$ 5年(リース期間) \times 6か月/12か月 = $\yen 48,000$

※ 減価償却費 : $\yen 6,000,000$ (見積現金購入価額) \div 5年(耐用年数) \times 6か月/12か月 = $\yen 600,000$

② 期中仕訳 (2019年3月31日)

(借) リース債務	600,000	(貸) 普通預金	648,000
(〃) 支払利息	48,000		
(借) 減価償却費	600,000	(貸) リース資産減価償却累計額	600,000

(3) 備品C

① 期中仕訳 (2018年9月30日)

(借) リース債務	612,000	(貸) 普通預金	660,000
(〃) 支払利息	48,000		
(借) 減価償却費	612,000	(貸) リース資産減価償却累計額	612,000

※ 普通預金(支払リース料) : $\yen 7,920,000$ (リース料総額) \div 6年(リース期間) \times 6か月/12か月 = $\yen 660,000$

※ 支払利息 : $\{ \yen 7,920,000$ (リース料総額) $- \yen 7,344,000$ (見積現金購入価額) $\} \div$ 6年(リース期間) \times 6か月/12か月 = $\yen 48,000$

※ 減価償却費 : $\yen 7,344,000$ (見積現金購入価額) \div 6年(耐用年数) \times 6か月/12か月 = $\yen 612,000$

② 期中仕訳 (2019年3月31日)

(借) リース債務	612,000	(貸) 普通預金	660,000
(〃) 支払利息	48,000		
(借) 減価償却費	612,000	(貸) リース資産減価償却累計額	612,000

(4) 機械D

① 期中仕訳 (2018年9月30日)

(借) リース債務	1,260,000	(貸) 普通預金	1,440,000
(〃) 支払利息	180,000		
(借) 減価償却費	1,260,000	(貸) リース資産減価償却累計額	1,260,000

※ 普通預金(支払リース料) : $\text{¥}23,040,000(\text{リース料総額}) \div 8\text{年}(\text{リース期間}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}1,440,000$

※ 支払利息 : $\{ \text{¥}23,040,000(\text{リース料総額}) - \text{¥}20,160,000(\text{見積現金購入価額}) \} \div 8\text{年}(\text{リース期間}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}180,000$

※ 減価償却費 : $\text{¥}20,160,000(\text{見積現金購入価額}) \div 8\text{年}(\text{耐用年数}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}1,260,000$

② 期中仕訳 (2018年10月1日)

(借) リース資産減価償却累計額	2,100,000	(貸) リース資産	6,720,000
(〃) リース資産除却損	4,620,000		

※ リース資産減価償却累計額 : $\text{¥}20,160,000 \div 3(\text{保有台数}) \times 30\text{か月}(2016.4.1 \sim 2018.10.1) / 96\text{か月} = \text{¥}2,100,000$

③ 期中仕訳 (2018年10月1日)

(借) リース債務	4,620,000	(貸) 現金預金	5,280,000
(〃) リース資産解約損	660,000		

※ リース債務 : $\text{¥}20,160,000 \div 3 - \text{¥}2,100,000(2016.4.1 \sim 2018.10.1\text{までの支払リース債務}) = \text{¥}4,620,000$

④ 期中仕訳 (2019年3月31日)

(借) リース債務	840,000	(貸) 普通預金	960,000
(〃) 支払利息	120,000		
(借) 減価償却費	840,000	(貸) リース資産減価償却累計額	840,000

※ 普通預金(支払リース料) : $\text{¥}15,360,000(\text{解約後リース料総額}) \div 8\text{年}(\text{リース期間}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}960,000$

※ 支払利息 : $\{ \text{¥}15,360,000(\text{リース料総額}) - \text{¥}13,440,000(\text{見積現金購入価額}) \} \div 8\text{年}(\text{リース期間}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}120,000$

※ 減価償却費 : $\text{¥}13,440,000(\text{解約後見積現金購入価額}) \div 8\text{年}(\text{耐用年数}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}840,000$

(5) 機械E

① 期中仕訳 (2018年9月30日)

(借) リース債務	1,500,000	(貸) 普通預金	1,800,000
(〃) 支払利息	300,000		
(借) 減価償却費	1,500,000	(貸) リース資産減価償却累計額	1,500,000

※ 普通預金(支払リース料) : $\text{¥}28,800,000(\text{リース料総額}) \div 8\text{年}(\text{リース期間}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}1,800,000$

※ 支払利息 : $\{ \text{¥}28,800,000(\text{リース料総額}) - \text{¥}24,000,000(\text{見積現金購入価額}) \} \div 8\text{年}(\text{リース期間}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}300,000$

※ 減価償却費 : $\text{¥}24,000,000(\text{見積現金購入価額}) \div 8\text{年}(\text{耐用年数}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}1,260,000$

② 期中取引 (2018年10月1日)

(借) リース資産減価償却累計額	24,000,000	(貸) リース資産	24,000,000
------------------	------------	-----------	------------

※ 機械Eはリース期間満了であるため、リース資産勘定とリース資産減価償却累計額を相殺する。

(6) 機械F

① 期中仕訳 (2018年10月1日)

(借) リース資産	27,840,000	(貸) リース債務	27,840,000
-----------	------------	-----------	------------

② 期中仕訳 (2019年3月31日)

(借) リース債務	1,740,000	(貸) 普通預金	1,920,000
(〃) 支払利息	180,000		
(借) 減価償却費	1,740,000	(貸) リース資産減価償却累計額	1,740,000

※ 普通預金(支払リース料) : $\text{¥}30,720,000(\text{リース料総額}) \div 8\text{年}(\text{リース期間}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}1,920,000$

※ 支払利息 : $\{ \text{¥}30,720,000(\text{リース料総額}) - \text{¥}27,840,000(\text{見積現金購入価額}) \} \div 8\text{年}(\text{リース期間}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}180,000$

※ 減価償却費 : $\text{¥}27,840,000(\text{見積現金購入価額}) \div 8\text{年}(\text{耐用年数}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}1,740,000$

2. オペレーティング・リース取引

(1) 事務所

① 期中仕訳 (2018年9月30日)

(借) 支払リース料	3,000,000	(貸) 普通預金	3,000,000
------------	-----------	----------	-----------

※ $\text{¥}30,000,000(\text{リース料総額}) \div 5\text{年}(\text{リース期間}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}3,000,000$

② 期中仕訳 (2019年3月31日)

(借) 支払リース料	3,000,000	(貸) 普通預金	3,000,000
------------	-----------	----------	-----------

(2) 車両

① 期中仕訳 (2018年9月30日)

(借) 支払リース料	1,080,000	(貸) 普通預金	1,080,000
------------	-----------	----------	-----------

※ $\text{¥}4,320,000(\text{リース料総額}) \div 2\text{年}(\text{リース期間}) \times 6\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}1,080,000$

② 期中仕訳 (2019年3月31日)

(借) 支払リース料	1,080,000	(貸) 普通預金	1,080,000
------------	-----------	----------	-----------

(3) 事務所 (当期からリース開始)

① 期中仕訳 (2018年9月30日)

(借) 支払リース料	900,000	(貸) 普通預金	900,000
------------	---------	----------	---------

※ $\text{¥}10,800,000(\text{リース料総額}) \div 3\text{年}(\text{リース期間}) \times 3\text{か月} / 12\text{か月} = \text{¥}900,000$

② 期中仕訳 (2018年12月31日)

(借) 支払リース料	900,000	(貸) 普通預金	900,000
------------	---------	----------	---------

③ 期中仕訳 (2019年3月31日)

(借) 支払リース料	900,000	(貸) 普通預金	900,000
------------	---------	----------	---------

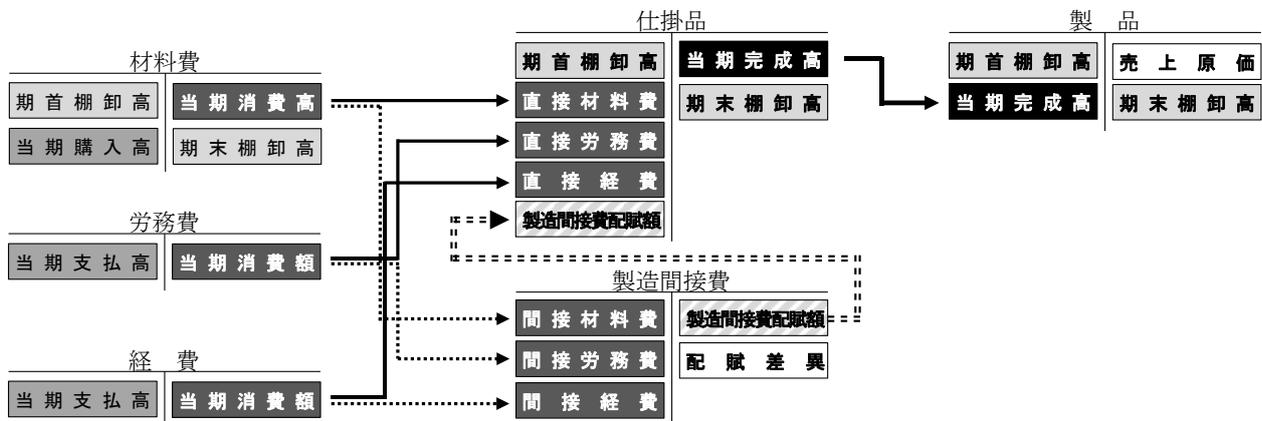
第3問 製造業の決算処理

商業簿記で一般的に出題される「小売業（非製造業）」と、工業簿記で一般的に出題される「製造業」とでは、以下のとおり、製造取引の有無に違いがある。製造業の場合、製造取引の記帳が重要であり、**勘定の流れ（勘定連絡図）**を正確に把握しておく必要がある。

業 種	購入取引	製造取引	販売取引
小売業など	○	×	○
製造業など	○	○	○

1. 勘定連絡図

製造取引における基本的な勘定連絡図を示すと、次のとおりである。本問は、勘定連絡図に沿って金額を集計すれば、解答を容易に導くことができる。



2. 製品売買取引

(1) 材料関連

a. 購入時

(借) 材	料	120,000	(貸) 買	掛	金	120,000
-------	---	---------	-------	---	---	---------

b. 消費時

(借) 仕	掛	品	90,000	(貸) 材	料	115,000
(〃) 製	造	間	接	費	25,000	

c. 減耗の発生

(借) 材	料	棚	卸	減	耗	損	500	(貸) 材	料	500			
(借) 製	造	間	接	費	500	(貸) 材	料	棚	卸	減	耗	損	500

(1) 材料帳簿棚卸高：49,500千円(2月末材料残高) + 120,000千円(材料仕入)

− 90,000千円(材料直接消費高) − 25,000千円(材料間接消費高) = 54,500千円

(2) 材料棚卸減耗損：54,500千円(帳簿棚卸高) − 54,000千円(実地棚卸高) = 500千円

d. 勘定記入

		材 料									
前	月	繰	越	49,500	仕	掛	品	90,000			
買	掛	金	120,000	製	造	間	接	費	25,000		
				材	料	棚	卸	減	耗	損	500
				次	月	繰	越	54,000			
				169,500				169,500			

(2) 貸金関連

(借) 賃	金	100,000	(貸) 現	金	預	金	100,000
(借) 仕	掛	品	100,000	(貸) 賃		金	100,000

(3) 経費・その他

a. 減価償却費

(借) 減	価	償	却	費	15,000	(貸) 建	物	減	価	償	却	累	計	額	3,000			
						(貸) (〃)	機	械	装	置	減	価	償	却	累	計	額	12,000
(借) 製	造	間	接	費	15,000	(貸) 減	価	償	却	費					15,000			

b. 退職給付費用

(借) 退	職	給	付	費	用	30,600	(貸) 退	職	給	付	引	当	金	30,600
(借) 製	造	間	接	費	30,600	(貸) 退	職	給	付	費	用			30,600

※ 30,000千円(月割計上額) + 600千円(超過額) = 30,600千円

c. その他の経費等

(借) そ	の	他	の	経	費	等	41,000	(貸) 現	金	預	金	41,000	
(借) 製	造	間	接	費	41,000	(貸) そ	の	他	の	経	費	等	41,000

(4) 製造間接費関連

a. 予定配賦

(借) 仕	掛	品	110,000	(貸) 製	造	間	接	費	110,000
-------	---	---	---------	-------	---	---	---	---	---------

b. 勘定記入

製造間接費																	
材	料	25,000	仕	掛	品	110,000											
材	料	棚	卸	減	耗	損	500	製	造	間	接	費	配	賦	差	異	2,100
減	価	償	却	費	(建物)	3,000											
減	価	償	却	費	(機械装置)	12,000											
退	職	給	付	費	用	30,600											
そ	の	他	の	経	費	等	41,000										
						112,100										112,100	

c. 差異の計上

(借) 製	造	間	接	費	配	賦	差	異	2,100	(貸) 製	造	間	接	費	2,100
(借) 売	上	原	価	2,100	(貸) 製	造	間	接	費	配	賦	差	異	2,100	

(5) 製品関連

a. 製品完成

(借) 製	品	280,000	(貸) 仕	掛	品	280,000
-------	---	---------	-------	---	---	---------

b. 製品販売

(借) 売	掛	金	350,000	(貸) 売	上	350,000	
(借) 売	上	原	価	260,000	(貸) 製	品	260,000

◆ 解答の金額「売上高」: 3,740,000千円(2月末残高) + 350,000千円(当月売上高) = 4,090,000千円

c. 減耗の発生

(借) 製	品	棚	卸	減	耗	損	600	(貸) 製	品	600		
(借) 売	上	原	価	600	(貸) 製	品	棚	卸	減	耗	損	600

- (1) 製品帳簿棚卸高：30,000千円(2月末製品残高) + 280,000千円(製品完成) - 260,000千円(製品売上原価) = 50,000千円
 (2) 製品棚卸減耗損：50,000千円(帳簿棚卸高) - 49,400千円(実地棚卸高) = 600千円

◆ 解答の金額「売上原価」：2,574,000千円(2月末残高) + 260,000千円(当月売上原価)
 + 2,100千円(製造間接費配賦差異) + 600千円(製品棚卸減耗損) = 2,836,700千円

d. 勘定記入

		仕掛品	
前月繰越	60,000	製品	280,000
材料	90,000	次月繰越	80,000
賃金	100,000		
製造間接費	110,000		
	360,000		360,000

◆ 解答の金額「仕掛品」：80,000千円

		製品	
前月繰越	30,000	売上原価	260,000
仕掛品	280,000	製品棚卸減耗損	600
		次月繰越	49,400
	310,000		310,000

3. 掛代金の決済

(1) 買掛金の決済

(借) 買掛金	185,000	(貸) 現金預金	185,000
---------	---------	----------	---------

◆ 解答の金額「買掛金」：1,115,000千円(2月末残高) + 120,000千円(当月材料仕入高)
 - 185,000千円(買掛金決済) = 1,050,000千円

(2) 売掛金の決済

(借) 現金預金	300,000	(貸) 売掛金	300,000
----------	---------	---------	---------

4. 販売費支払

(借) 販売費	51,500	(貸) 現金預金	51,500
---------	--------	----------	--------

◆ 解答の金額「販売費」：628,000千円(2月末残高) + 51,500千円(当月販売費) = 679,500千円

5. 減価償却費(製造原価以外)

(借) 減価償却費	2,000	(貸) 建物減価償却累計額	2,000
-----------	-------	---------------	-------

◆ 解答の金額「減価償却費」：22,000千円(2月末残高) + 2,000千円(当月減価償却費) = 24,000千円

6. 貸倒引当金

(借) 貸倒引当金繰入	6,700	(貸) 貸倒引当金	6,700
-------------	-------	-----------	-------

※ 1,380,000千円(前月繰越) + 350,000千円(当月販売高) - 300,000千円(当月決済高) = 1,430,000千円

※ 1,430,000千円(期末売掛金) × 1% - 7,600千円(貸倒引当金残高) = 6,700千円

◆ 解答の金額「貸倒引当金繰入」：6,700千円

7. 退職給付費用（製造原価以外）

(借)	退職給付費用	15,000	(貸)	退職給付引当金	15,000
-----	--------	--------	-----	---------	--------

◆ 解答の金額「退職給付費用」：165,000千円(2月末残高) + 15,000千円(当月退職給付費用) = 180,000千円

8. 製品保証引当金

(借)	製品保証引当金	29,700	(貸)	製品保証引当金戻入	29,700
(借)	製品保証引当金繰入	28,000	(貸)	製品保証引当金	28,000

◆ 解答の金額「製品保証引当金戻入」：29,700千円(戻入額) - 28,000千円(繰入額) = 1,700千円

9. 有価証券

(1) 満期保有目的の債券

a. 科目の振替

(借)	投資有価証券	9,800	(貸)	有価証券	9,800
-----	--------	-------	-----	------	-------

b. 有価証券利息の計上

(借)	現金預金	60	(貸)	有価証券利息	60
-----	------	----	-----	--------	----

※ 10,000千円(額面金額) × 1.2%(年利率) ÷ 2 = 60千円

c. 償却原価法

(借)	投資有価証券	40	(貸)	有価証券利息	40
-----	--------	----	-----	--------	----

※ {10,000千円(額面金額) - 9,800千円(取得原価)} ÷ 5年(償還期間) = 40千円

◆ 解答の金額「有価証券利息」：60千円(2月末残高) + 60千円(利息受取額) + 40千円(償却原価法) = 160千円

◆ 解答の金額「投資有価証券」：9,800千円(取得原価) + 40千円(償却原価法) = 9,840千円

(2) 子会社株式

a. 科目の振替

(借)	関係会社株式	11,800	(貸)	有価証券	11,800
-----	--------	--------	-----	------	--------